



かきやき

夏季林間学校を
実施しました

本区教育委員会では、令和5年度から小学校5年生を対象とした夏季林間学校を実施しています(1校は引き続き夏季臨海学校を実施)。

今年度も、群馬県前橋市にある「国立赤城青少年交流の家」にて、7月20日(日)から8月28日(木)まで、2泊3日の日程で実施しました。



赤城山の自然の中でのハイキングや、宿泊施設の広大な敷地を活かしたオリエンテーリングでは、児童たちが地図を読み、ルートを確認しながら協力して活動し、自然と十分にふれあうことができました。

野外炊事では、慣れない飯盒炊飯に挑戦し、協力してカレーライスを作り上げるなど、みんなで力を合わせる喜びも感じていました。

夜のキャンプファイヤーでは、焚火の周りにみんなで集まり、歌やダンスを楽しみながら、友人との一体感や絆を深めることができました。

3日間を通じて、仲間との信頼関係を築くとともに、自然の中で多くの貴重な体験をすることができました。

学校給食のご案内



学校給食の実施について

小・中学校給食は、各学校で献立の作成から、給食用食材の発注・調理・配食までを一貫して行っています。

食材の安全確保

学校給食では、厚生労働省などからの情報に基づき、安全な食材を使用しています。



給食の献立を活用した食育について

地産地消や食文化、食物の生産等に対する理解を深めるため、東京都産食材や各地の食材を取り入れています。また、季節の行事に応じた給食や郷土料理を提供するなど給食を活用した食育を推進します。

9月は「食べよう野菜350(サン・ゴー・マル)～毎日350g以上の野菜を食べよう～」運動の強化月間です

食べよう野菜350は、健康の維持・増進のために、成人1人当たり350g(小学生300g)以上の野菜を食べることを推進しています。1皿70gを基準として1日5皿の野菜料理を食べると、目標量である350gの野菜を摂ることができます。

9月の学校給食では、週に1回「ベジチャレンジ」とし、小学校では1皿60g、中学校では1皿70gを基準とした野菜料理を提供しています。

区のHPにて、
野菜たっぷりメニュー
のレシピ動画を紹介

URL: https://www.city.chuo.lg.jp/a0049/kyuushokudouga.html



ご家庭で作ってみてください！

食べよう野菜350メニューの例

小学校

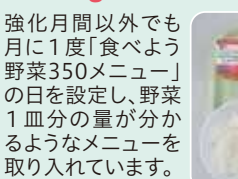
野菜2皿分のなすとトマトのスパゲッティ
フレンチサラダ・オレンジ・牛乳



野菜2皿分のなすとトマトのスパゲッティは、なすやトマトを中心に120gの野菜が入ったメニューです。

中学校

ごはん・ししゃもの南蛮漬け
野菜70gのごま和え・かきたま汁・牛乳



強化月間以外でも月に1度「食べよう野菜350メニュー」の日を設定し、野菜1皿分の量が分かるようなメニューを取り入れています。



問合せ先

学務課保健給食係
☎(3546)5515

第46回 子ども
フェスティバル

10月19日(日)

午前9時30分～午後2時
(コーナーの開始は午前10時から)

子どもたちのための地域による手づくりのイベント「子どもフェスティバル」は、アイデアに満ちた楽しい催し物がいっぱいです。

さわやかな秋晴れの日、たくさんのお友だちと楽しい思い出をつくりましょう。

会場 浜町公園・浜町運動場・
総合スポーツセンター

内容 工作・ゲーム・
スポーツ体験コーナー など

- 車や自転車での来場はご遠慮ください。
- ごみの持ち帰りにご協力をお願いします。
- エコバックをご持参ください。



▲令和6年度の様子



問合せ先

区民部文化・
生涯学習課青少年係
☎(3546)5304

「やってみたい!」 を育てよう!

区立幼稚園では、全園で
「とうきょう すくわくプログラム」
に取り組んでいます!



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう すくわくプログラムとは?

「とうきょう すくわくプログラム」は、すべての乳幼児の「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探究心(わくわく)」を応援する幼保共通のプログラムです。各園の環境や強みを生かしながら、「光」「音」「植物」など各園が設定するテーマに沿って、乳幼児の興味・関心に応じた探究活動を実践します。主体的・協働的な探究活動を通じて、非認知能力の向上など、幼児教育・保育の充実を図ることをサポートします。

それぞれの園では、どのように子どもたちの
「やってみたい!」が生まれているのでしょうか?
少しのぞいてみましょう!

園庭や隣の公園にいる
「だんごむし」に興味をもった子どもたち。
先生と一緒に「だんごむしけんきゅうじょ」を
作って、気付いたことを書いたり、
みんなで調べたりしています。



だんごむし、
ここにもいるかな?

茶色の葉っぱを
よく食べているね。
緑の葉っぱも食べるのかなあ?



「だんごむし
けんきゅうじょ」



やったあ!
大きい
シャボン玉が
できたよ!

水遊びの環境を工夫した園では、
水を使った遊びに一人一人が
じっくり取り組みました。



きれいな色を
たくさん並べて…
もっともっと
やってみたい!



この色とこの色
混ぜると…。
どんな色になるのかな。

畑と同じ
においが
するよ!

園の栽培物や
身近な自然を生かして…
草花を使った「叩き染め」や、
泥を使った泥団子作りにも
挑戦しています。



この花はどうか?



この花はよく色が出るね!

区内各園 令和7年度 園内研究テーマ一覧

- 1 泰明幼稚園**
「主体的に遊ぶ幼児を育てる
～出会う・感じる・深める活動を通して～」
- 2 中央幼稚園**
「心豊かな幼児を育むために
～桜の木を中心とした自然との関わりを通して～」
- 3 明石幼稚園**
「夢中になって遊ぶ幼児を目指して
～わくわく体験の充実 砂・水・泥遊びを通して～」
- 4 京橋朝海幼稚園**
「絵本を使って、探究する幼児を育てる」
- 5 明正幼稚園**
「心を動かして遊ぶ幼児の育成
～幼児が主体的に探究する環境構成の工夫～」
- 6 日本橋幼稚園**
「一人一人の『やってみたい!』を目指して
～身近な自然との関わりを通して～」
- 7 有馬幼稚園**
「夢中になって遊ぶ幼児を育てるための環境と
教師の援助 ～幼児の探究する姿を通して～」
- 8 久松幼稚園**
「自然と遊ぶ・自然と暮らす
～好奇心や探究心を育む環境構成と援助の工夫～」
- 9 月島幼稚園**
「『いいことみつけた!』『やってみたい!』が生まれる
環境構成の工夫 ～大好き私たちの庭～」
- 10 月島第一幼稚園**
「わくわくしながら遊ぶ幼児を育てる
～一人一人の探究を支える環境と援助の工夫～」
- 11 月島第二幼稚園**
「園生活を豊かにする環境と援助の工夫」
- 12 晴海幼稚園**
「『やりたい!』があふれる!
～幼児の心が動く環境と援助の工夫～」
- 13 豊海幼稚園**
「子どもと共に探究する保育を目指して
～身近な自然との関わりを通して～」

※園内研究テーマは変わることがあります。



幼稚園の研究会に、小
学校の先生方も参加!
幼児期から学齢期の子
どもたちの「学び」やそ
のつながりについて、
共に研究し、理解を深
めています。

この他、それぞれの幼稚園で環境を
工夫し、主体的・協働的な探究活動
を実践しています。

また、区立幼稚園では、全園で未就
園児の会も実施しています。詳細は、
各園のHPに掲載してありますので是非
お気軽にご参加ください!



区立幼稚園一覧

GIGAスクール構想の第2期がはじまりました

中央区の教育がさらに進化！

GIGAスクール構想第2期で 「個別最適な学びと協働的な学び」を推進

児童生徒の学びを一層深めるため、GIGAスクール構想の第2期としてICT環境を大幅に刷新します。この取り組みは、「個別最適な学びと協働的な学び」の実現を強力に推進することを目的としています。

一人一台のタブレットがもっと便利に！

児童生徒には引き続き一人一台の学習用タブレット(WindowsタブレットまたはiPad)を貸与し、学校だけでなくご家庭での学習にも活用できます。特に、「シングルサインオン」に対応し、これまでよりも操作が格段に簡単になります。1つのアカウントで全ての学習アプリケーションにログインできるため、学習へのアクセスがよりスムーズになります。

学習の場所を選ばない

学校内の通信環境を強化するとともに、学校外ではLTE回線に加え、ご家庭のWi-Fiへの接続も可能になります。学校内外におけるネットワーク環境を充実することで、児童生徒は場所を選ばずに学習に取り組めます。

教室が新たな学びの場へ！

全ての教室にディスプレイ型電子黒板を導入します。鮮明な画面と直感的なタッチ操作で、児童生徒がより主体的に参加できる対話的な学習環境を実現します。従来のプロジェクター型電子黒板とは異なり、設置や移設が柔軟になり、より効果的に授業を展開できます。

創造性を育む新しいツールも充実

新しい学習体験を支えるアプリケーションも充実します。クラス全体で取り組むことができる「協働学習ツール」、個別最適な出題を行う「AIドリル」、自動採点する「CBT」など、多様な学びに対応しています。また、生成AIを実装したプレゼンテーションツールで絵を描いたりデザインを作成したりする機能を通じて、児童生徒の創造性を育み、探究学習を後押しします。



この新たなICT環境を通じて、児童生徒の可能性を最大限に引き出し、未来を生き抜く力を育む教育の実現に努めてまいります。

「ミライシードAWARD2024」教育DX部門最優秀賞を受賞



教育のDX化に向けた取り組みの成果が認められ、明石小学校が「ミライシードAWARD 2024」教育DX部門最優秀賞を受賞しました。今回の受賞をきっかけに、今後もICTを活用し、区全体で教育の質を向上させていきます。

令和8年4月に小・中学校に 入学されるお子さんがいる方へ

小学校特認校制度

区立小学校への入学にあたっては、お住まいの住所に基づき指定されている小学校への就学を原則としています。が、「ご希望により指定校以外の小学校を選択できる「特認校制度」を実施しています。

※受け入れ人数を超える申請があった場合には抽選を行います。

●学校情報の提供

特認校各校で説明会を実施する他、各学校のホームページで随時情報を提供していますので、ご確認ください。

また、通学区域の学校(指定校)でも学校公開を実施しています。対象の方にお送りした「中央区立小学校案内」に学校公開の日程を掲載しています。

※今後の状況によって、日時の変更や中止となる場合がありますので、詳細は各学校のホームページでご確認ください。

中学校自由選択制

特色ある教育を展開し、開かれた学校や子どもたちにとって魅力ある学校づくりを促進するため、「中学校自由選択制」を実施しています。お住まいの住所に基づき指定されている中学校への就学を原則としていますが、この制度により、中央区内にお住まいであれば、通学区域以外の学校からでも入学したい学校を選択できます。

※受け入れ人数を超える申請があった場合には抽選を行います。

●学校情報の提供

学校ごとに説明会や学校公開を実施します。「中央区立中学校案内」や各中学校のホームページでご確認ください。

※今後の状況によって、日時の変更や中止となる場合がありますので、詳細は各学校のホームページでご確認ください。

指定校変更

指定校以外の学校に兄や姉が在学(小学校は1～5年生、中学校は1～2年生)しているなどの事情がある場合は、指定校変更の申請をすることができ、学務課学事係へご相談ください。

各制度の概要・申請方法・就学の条件・申請受付期間などの詳細は「中央区立小学校案内」、「中央区立中学校案内」、区のホームページでご確認ください。

「問合せ先」

学務課学事係

☎(3546)5512

(3546)5513

(3546)5514

区ホームページ「学校選択制」
<https://www.city.chuo.lg.jp/kosodate/gakkoukyouiku/shouchuugakou/sentakui/index.html>





教育委員コラムリレー

いとう よしこ

伊東 佳子 委員

これまでの活動を振り返っていかがですか？

特に印象的だったのは、各学校の授業参観や卒業式、入学式、周年行事などですね。どの学校に伺っても、地域のみなさんがとても熱心に活動に参加してくださっていました。また、学校が地域のみなさんを頼りにしている部分もあり、素敵だなと感じたのを覚えています。子どもたちもみんな素直で、挨拶もしっかりできており、感心しました。

任期が始まった頃に新型コロナウイルスの感染拡大がありました。当時の教育現場の状況についてお聞かせください。

厳しい状況のなかでも、子どもたちがきちんと成長できたことが大きな成果だったと思います。ちょうどコロナ禍が始まって学校が休校になったタイミングで、これからどうなるのか分からず大変な中、今できることを見つけ、少しずつ進めていく教育現場の姿勢が、とても心に残っています。

なかでも、タブレットをいち早く導入したことが印象的でした。タブレットを使っていきなり授業を始めるのではなく、まずは朝の会で教室のみんなの顔を見ることから始めた点が、とても良いスタートだったと感じました。タブレットに頼り切るのではなく、子どもたちが学びを深められるように工夫されており、新しいツールを先生方が上手に使いこなしているのも、頼もしかったです。

今後取り組んでいきたいことはありますか？

学校が地域のコミュニティの中心となるよう、取り組みたいです。中央区は、区外からの人の流入が非常に多い点が特徴です。また、中央区内の出生率が上がっていて、国内では珍しく人口が増えているエリアです。それ自体は良いことで活気にもつながっていますが、地域の繋がりが薄くなってしまう懸念もあります。例えば、学校行事に保護者の方々だけでなく、地域のみなさんや中央区以外の学校に通う子どもたちも招くことで、コミュニティづくりに貢献できればと考えています。

子どもたちや保護者・先生方にメッセージをお願いします。

子どもたちには、「なぜ学ばなければいけないのか？」を頭の片隅に置いておいてほしいと思います。子どもたちに「なぜ勉強するのか？」と聞くと、「自分のため」という答えがよく返ってきます。中央区の子どもたちの多くは、勉強

広い視野と多様性を受け入れる心を育てたい

令和2年4月1日から教育委員を務められ、現在2期目の任期中の伊東佳子委員。コロナ禍という未曾有の状況から教育委員としての活動をスタートされました。地域とのつながりを大切にし、子どもたちの成長を見守ってきた伊東委員に、これまでの活動や今後の目標、子どもたちへのメッセージを伺いました。

しやすい恵まれた環境にあると思っています。その環境に感謝し、社会や周りをより良くするために勉強するという気持ちを少しでも持ってもらえたらと思います。

今はスマートフォンで簡単に情報が得られますが、実はAIが選んだ偏ったものです。だからこそ多様性を大切にする姿勢をもってほしいと思います。自分と同じような背景・考え方の仲間だけでなく、いろいろな背景・考え方を持つ人と、さまざまな場でコミュニケーションをとることを意識してください。そうすることで、自分の感じていることを表現し、相手の考えを誤解なく受け取り、もし「誤解かもしれない」と思ったら正せるコミュニケーション能力を身につけられます。この力があれば勉強でもなんでもうまくいくと思いますので、ぜひ視野を広げていってほしいですね。

広い視野を持つことが必要なのは、子どもたちだけではなくありません。保護者の方や先生方にも必要なことだと考えています。子どもを三人育てた経験から申し上げますと、子どもは親や先生の期待に応えたいという思いから、自分のことを良く見せようとするものです。これは子どもが本来持っている生きる力であり、否定すべきことではありません。しかし、一方からの情報だけではなく、さまざまな角度から情報を集めることが大切です。そうすることで見方が広がります。保護者の方や先生がそうしたものの見方をしていると、子どもも多角的に物事を考えられるようになり、将来はグローバルな世界に羽ばたいていける人になるのではないのでしょうか。



【プロフィール】

中央区日本橋小網町生まれ。埼玉医科大学卒業後、埼玉医科大学総合医療センター 第四内科（現：腎・高血圧内科、神経内科）勤務。平成25年9月、茅場町いとう医院副院長。現在はつぶく医院の医師やこども園の園医も兼務。令和2年4月1日から中央区教育委員に就任。



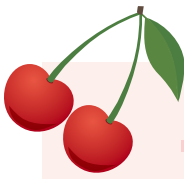
お絵かきうちわをいただきました！



今年も公益社団法人京橋法人会から区立幼稚園全園児にお絵かきうちわがプレゼントされました。

今年の贈呈式は、7月9日（水）に明石幼稚園で行われ、京橋法人会会長の松崎宗仁さん^{まつざきむねひと}他4名の方から園児代表にお絵かき

うちわが手渡されました。うちわには、お絵かきで自由な発想を養い、熱中症予防に活用してほしいと想いが込められています。園児からのお礼の言葉と元気な歌も披露され、にぎやかな式となりました。



さくらんぼをいただきました！

山形県東根市から、毎年恒例となっているさくらんぼのプレゼントが6月18日（水）に各幼稚園に届きました。

また、当日には東根市の方々をお招きして、さくらんぼをいただくセレモニーを泰明幼稚園で開催しました。生産者の方に作成していただいたビデオレターで、園児たちはさくらんぼ収穫の様子を楽しく鑑賞していました。園児たちの心のこもったお礼のダンスや歌に、東根市の方々も感激されていました。



学校問題 ほっとライン のお知らせ

お子さんを中央区立幼稚園、小学校、中学校に通園、通学させている保護者の方を対象に、幼稚園、学校に対するご意見、ご要望等について、学校現場での経験豊富な退職校長や副校長が電話でご相談に応じます。

相談日時 毎週月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前9時～午後5時

電話番号

03-3546-5745

お子さんの学校に関する
お悩み事があれば
ぜひご相談ください！



教育委員会の主な活動状況

（令和7年7月11日～令和7年9月10日）

● 中学生海外体験学習出発式

7月24日（木）

● 第8回定例会および研修会

8月6日（水）

● 中学生海外体験学習 教育長視察

7月27日（日）から8月2日（土）

● 第9回定例会および研修会

9月3日（水）

● 中学生海外体験報告会

8月5日（火）

